

研究協力のお願

市川歯科医院では、下記の臨床研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問はお気軽に当院へご連絡ください。

課題名

成人の開咬患者における顎顔面形態と後戻りに関する長期成績

研究の概要・計画

研究目的・意義：

本研究は市川矯正歯科医院を受診した不正咬合患者について、分析、診断等のため治療上必要と判断し採得した資料を用いて、治療前・治療後・保定期間終了後の変化を解析することにより、治療後の後戻りの程度及び後戻りが起こりやすい症例の傾向を明らかにすることを目指す。

本研究成果は、歯科矯正学において治療後の後戻り防止に貢献できると考える。

研究成果は、日本矯正歯科学会をはじめとする国内外の学会で発表し、学術雑誌に投稿する予定である。

調査対象期間：1980年1月～2015年12月

調査対象情報：上記調査対象期間に市川矯正歯科医院を受診し、
不正咬合と診断され矯正治療を適用した患者（120名）

調査項目：治療前・後・保定期間終了後のセファログラム、写真を用い、従来の矯正学に基づく分析方法（セファロ分析）により平均値を算出し解析する。
その後、統計学的に比較検討を行う。

尚、患者情報を含む資料は当院にて厳重に管理し、研究及び発表時に個人が特定されることはありません。

研究実施期間

2018年 3月 1日 ～ 2018年 11月30日